



いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

西日本豪雨災害支援について

この度の西日本豪雨災害により犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。和光市議会は、総務環境常任委員会が10月に行政視察先として訪問を予定していた呉市と倉敷市に義援金を送付させていただきました。また、7月26日に和光市駅にて議員全員で街頭募金を行い、71,902円の義援金をいただきました。ご協力ありがとうございました。



平成30年和光市議会6月定例会報告

5月31日～6月19日の期間で6月定例会が行われました。主な議案と審議結果は以下の通りです。なお、議案と審議結果の詳細は和光市議会のホームページをご覧ください。

議案(抜粋)	議案の概要	審議結果
和光市議会議員及び和光市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	公職選挙法の一部改正により、和光市長選挙と同様に、和光市議会議員選挙における選挙運動用ビラの作成費用を公費負担できるように改める。1枚当たり7円51銭、4千枚までとする。	原案可決
和光市税条例の一部を改正する条例を定めることについて	中小企業が生産性を向上させる設備投資を行った場合、一定の期間、償却資産に係る固定資産税の課税標準となる価格をゼロとする。	原案可決
和光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	対象世帯の教育認定子ども（幼稚園等を利用する1号認定子ども）の保育料を減額する。第3階層（市町村民税所得割額が77,100円以下）の保育料を14,100円から10,100円に減額。	原案可決
和光市立公園条例の一部を改正する条例を定めることについて	新たに整備した上谷津公園を都市公園として定めるため、名称及び位置を記載するもの。	原案可決
平成30年度補正予算	一般会計予算に308,846千円を増額。補正後は約25,974,846千円。	原案可決

6月定例会の主な提出議案(抜粋)

● 平成30年度埼玉県和光市一般会計補正予算

・(仮称)第五小学校放課後子ども総合プラン拠点施設新設工事設計業務委託料

第五小学校の待機児童の解消を図るため、「学童クラブ」と「わこうっこクラブ」を一体化させた施設を整備します。「わこうっこクラブ」とは放課後に会場の教室に集まり宿題や自主学習をしたり、読書や遊び、軽スポーツをして過ごす教室です。現在5校に設置済みで、平成32年度までに全小学校に設置する予定です。建物は2階建てで、1階がわこうっこクラブ、2階が学童クラブになります。一つの建物内で両事業を運営することにより、子ども同士の交流がより活発になることが期待できます。

・第五小学校境界塀・プール改修工事

プールの改修は、プール槽への塩ビシート防水の設置、プールサイドには滑らないように砂の粒が混じったシートの設置、更衣室の屋根と壁への防水塗装、トイレの洋式化等です。境界塀は学校周囲の約160mのコンクリートブロックを撤去し、フェンスに改修します。フェンスはネットフェンスと目隠しフェンスの2種類あり、正門から体育館の端までネットフェンス、南側の市道に接する部分は目隠しフェンスを設置し、中の状況が見えないようになります。

いはら陽輔の一般質問の要旨

労働時間の平準化

問：市役所では時期により業務量が増大する部署がある。その際、他部署から一時的に異動、あるいは部署の異動はともなわず、普段の業務量を調整して多忙な部署の応援をして、全体として労働時間の平準化をはかる取り組みはできないのか。

答：一時的に業務量が増える場合の対応としては、臨時職員を雇用している。また、同じ部署内の職員に応援を頼んだり、経験者に手伝いをお願いしたりするケースもある。しかし、現在ほどの部署も多忙のため余裕がある部署が少なくなっているが、可能な限り柔軟な対応を進めていく。

ITを活用した時間外労働時間の縮減

問：つくば市は市民税課の5つの業務に*RPAという、人がPCで行う作業を自動化するツールを適用し、3ヶ月で約116時間も削減した。年間換算すると約336時間の削減効果がある。費用対効果も優れているので、導入を検討すべきと考えるがいかがか。

答：市役所の定型業務の自動化を行う上では、非常に有効なツールであるという感じを持った。つくば市でRPAを活用するための研究が始められているので、その動向を今後注視していきたい。

*RPA(Robotic Process Automation)：定型業務の処理など、決められた通りに自動で機能するソフトウェア

3歳児に対する保育ニーズの高まり

問：子ども・子育て支援事業計画中間見直しによると、平成27年、28年の0歳～5歳までの子ども人口推計は、見直し前よりも実績の人数の方が少なくなっている。しかし、教育・保育事業の提供体制については、2号認定の提供体制が見直し前より大幅に増えてる。3歳児の保育ニーズが高まった理由についてはどのように分析しているのか。

答：平成27年度から平成29年度、市内の3歳から5歳の人口のうち、教育・保育事業を利用する児童の割合は、いずれの年も95%弱と大きな変化はない。しかし、幼稚園を利用する児童の割合が平成27年度は約30%であったが、平成29年度は約24%と減少している。

このことから、市内の3歳児の保育ニーズの高まりは、市外幼稚園利用者の減少と表裏をなしており、預かり時間や施設への距離等が影響していると考えている。

荒川第二、第三調節池の整備

問：今年の3月5日、国土交通省の社会資本整備審議会の河川分科会において、事業評価小委員会が開催され、荒川第二、第三調節池について新規事業採択時評価が実施され、関東地方整備局の平成30年度予算として、約6億円が計上され、荒川第二、第三調節池の工事実施に向けた基盤整備が実施されるとのこと。整備箇所の下流に当たる和光市にも大きな影響があるので、どのような事業であるのか内容について伺う。

答：この調節池は、荒川中流部のさいたま市、川越市、上尾市内の広い高水敷に整備されるもので、大雨の時に河川の水を一時的にためて、下流へ流れる量を抑えるものである。調節池の整備概要は、面積は760ha、総事業費1,670億円、事業期間は今年度から2030年度までの計画になっている。

和光市を含む荒川下流部は、平成15年度に彩湖を含む荒川第一調節池が完成し、堤防整備も概ね完成しているが、今回の調節池は第一調節池の1.3倍の規模となるため、和光市の治水安全度がさらに高まることとなる。

和光市版総合戦略の施策の達成状況

問：和光市版総合戦略は平成27年度から平成31年度までが対象となっており、来年が最終年度となる。施策の評価指標としてKPIや数値目標を設定しているが、目標が達成できそうなものと達成は難しそうなものが分かってきているのではないかと思うが状況を伺う。

答：指標によって毎年数値を把握できるものと把握が困難なものがある。把握ができるものによる平成28年度末時点の達成状況は概ね順調に進んでいる施策もあるが、一部の施策では数値目標が方向性に反するものもある。例えば基本目標1のふるさとハローワークを利用した人数、基本目標2の「わこうっち」グッズの売り上げなどがある。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

9月定例会の開催予定

8月30日(木)	開会、議案の提案説明
9月5日(水)	議案に対する質疑
9月6日(木)	常任委員会
9月7日(金)	常任委員会
9月10日(月)	常任委員会
9月11日(火)	常任委員会
9月12日(水)	常任委員会
9月13日(木)	市政に対する一般質問
9月14日(金)	市政に対する一般質問
9月18日(火)	市政に対する一般質問
9月19日(水)	市政に対する一般質問
9月21日(金)	議案に対する討論、採決、閉会

※開始時間は午前9時です。是非、傍聴にお越しください！

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke